



虹

台湾・台中通信
第2号
8月1日
台中日本人学校
中島英治

日中の気温は 35℃前後まで上がります。暑さには慣れてきましたが、台湾の方たちはクーラーをガンガンに効かせるので、建物の中はかえって寒いくらいです。1枚余分に上着が必要です。

新台湾紀行

第1回 「台湾総統府と國父紀念館」

故・司馬遼太郎氏の名著『台湾紀行』にあやかって名付けた新台湾紀行では、私の独断と偏見を持って、台湾の名所や生活の様子を紹介していきます。

中華民国（台湾）総統府



けたがらん
片側5車線の凱達格蘭大道から。



別の角度から。憲兵が銃を持って警護しています。



黙って写真に収まってくれました。

1895年から1945年まで、台湾は日本の領土でした。上の写真は、50年間、台湾を統治していた「総督府」です（1919年完成）。日本の敗戦後は、国共内戦に敗れた蒋介石率いる中華民国政府がこの建物を接收し、現在も「総統府」として利用されています。

國父紀念館

中華民国建国の父・孫文を讀え、その教えを後世に語り継ぐことを目的に建設されました。台湾では、孫文より「孫中山」という号で呼ばれることが多く、大学や公園、道路など、至る所に「中山」という名称がつけられているほど尊敬されています。写真は、孫文の巨大な座像と毎正時に行われる「衛兵交替式」の様子です。



一点を見つめ微動だにしません。



係の方が汗を拭いてくれます。

街の風景～何でも乗せちゃいます～



とにかくバイクが多い。50 ccに見えますが、ほとんどが 125 cc です。だから、速い。しかも、強い。車の間をすり抜けていきます。3～4 人乗りも見かけます。



犬だって乗れるんです。怖くないよ。



回転寿司は台湾でも人気です。お稲荷さんにもおいしいものは何でも乗せちゃいます。

これは「豆花」。豆腐に甘納豆やピーナッツ、白玉、フルーツなどを乗せるデザートです。

颱風(たいふう)とは…

中国語で「台風」のことをいいます。7月下旬には台風7号と8号が台湾を通過しました。

19日に通過した7号は、死者・行方不明者あわせて25名という大被害をもたらしました。台中校はこの日が1学期の終業式でしたが、急きょ、テレビ放送で「不上課」の告知が出されたため、臨時休校となりました。不上課とは、「授業がお休み」という意味です。

28日には8号が通過、この日は、台湾島全土で「不上課」「不上班」の告知が出されました。不上班とは「会社がお休み」という意味です。この時も大雨による被害がもたらされました。

台湾に来て感じたことは、「日本の天気予報は実に正確である」ということ。一日の天気や気温の予想から週間予報に至るまで、日本では天気予報をかなり信用していたことに気づかされます。日本では、降水確率が低ければ雨の心配をする必要はほとんどありませんでした。週間予報を見て週末の予定を立てることもでき、気温の予想を見てその日の服装を決めることもできました。

しかし、私が幼い頃は「天気予報は当てにならない」と言われていたような気がします。日本の予報技術の進歩には頭が下がります。ただ、予報が正確なため、あたかも天気をコントロールできたかのような錯覚に陥らないよう、自然の驚異を忘れずに生活していきたいと思う今日この頃です。

【発行者】台中日本人学校 中島英治

自宅住所：台湾台中市南屯區大墩十六街6号3F-1 e-mail：eiji-metabolic@cap.ocn.ne.jp

○台中日本人学校のホームページもご覧ください。